

第5学年 社会科学学習指導案

日時 平成19年 9月28日(金) 5校時
場所 釜石市立小佐野小学校 5年1組教室
児童 5年1組 男18名 女18名 計36名
授業者 伊東 茂

- 1 単元名 「工業生産を支える人々(教育出版上)」
中単元名 世界に広がる自動車工場

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、社会科の第5学年の目標(1)「我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展に関心をもつようにする。」と(3)「社会的事象を具体的に調査し、地図・統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味について考える力を育てるようにする。」を受けて設定されている。

ここでは、日本の代表的な基幹産業である自動車産業を教材化している。まず、福祉車両と一般の自動車を比べることから人々の願いに応える自動車づくりへの関心を高めるとともに、生産の様子や働く人の工夫・努力について考えるようにしている。

次に、出荷される自動車のゆくえを追求する中で、運輸や貿易のはたらきについて気づかせるとともに、これからの自動車産業の課題をとらえさせるという一貫した展開にしている。

さらに、具体的な事例(自動車産業)について学習した後に、日本の工業の特色や工業生産の在り方について考えるようにしている。

体験学習及び地図や統計による調べ学習を通して、工業生産に携わる人々の生産を高める工夫・努力、そして日本の工業の現状と課題をとらえさせる上で、最適な教材と考える。

(2) 児童について

児童は農業及び水産業の学習を通して、それぞれの仕事の特性について理解を深めてきた。また、調べたことを基にして、働く人々の工夫や努力について考える力を培ってきた。観察・資料活用の技能も調べ活動を通して少しずつ高まってきた。

9月に実施した意識調査によれば、「社会科の学習が好き」と答えた児童は全体の80%と高く、社会的事象に対する関心の高さが伺える。また、「日本の工業生産に関心がある」と答えた児童は70%程度だったことから、工業生産に親しみを感じている児童は、ある程度多いことが分かる。また、「日本の自動車産業に関心がある」と答えた児童は約70%だったことから、自動車産業に関心がある子どもも少なからずいることが分かる。

「自動車産業と貿易について」では、「海外に日本車を輸出している」「外国から自動車を輸入している」と答えた児童が数名いたが、「海外生産」について触れていた児童はいなかった。このことから「海外生産」については、児童にとって馴染みが薄いことが分かる。

「日本の工業の課題について」では、「少エネ」「環境問題」と的確に答えた児童が約9%いるだけで、無回答が大半だった。このことから、工業が抱える社会的な問題や環境問題等に対して関心を持つ児童が、極めて少ないと推察できる。

自動車産業の学習を通して、世界有数の工業国である我が国の工業や貿易にもっと関心を持つようにしていきたい。また、工業生産に関わる人々の工夫・努力について考えるとともに、工業生産の現状と課題について理解を深め、これからの工業の在り方について自分なりの考えを持つようにしたい。

(3) 指導について

単元を通して、授業開始5分間にドリルタイムを位置づけ、その中で学習と関連の深い日本の県名及び世界の国名などの地理的な位置の把握、基礎的な用語の習得を系統的に図っていくようにする。また、前時に学習した内容の基礎的・基本的事項が定着しているかどうかを確認する。もしも、定着不十分であれば補説を取り入れるなど、支援する。

授業の導入では、写真やグラフの読み取りを位置づけるとともに、児童が資料から気づいたことを基にして、学習課題を設定していくようにする。

課題を全体で確認した後、調べ活動に入る前に課題の答えを予想し、学習の見通しを持つようにする。予想する際は、既習内容及び経験を基にするなど根拠を明らかにして予想するようにする。

調べ活動では、学習内容の中心となる生産活動の様子を児童が直接見学したり、体験したりすることが企業の経営上の都合で難しい。そこで、児童の身近にある自動車を観察したり、自動車販売店のパンフレット、テレビCMのDVDの視聴を通して資料を分析・活用していくようにする。ただし、教科書及び社会科資料集を最大限に有効活用することを心がけていく。

学び合いでは、調べたことを発表し合うだけでなく、調べた内容が資料のどの部分から分かったのかも明らかにするようにする。

深める話し合いでは、教師が児童の思考の深める発問を用意し、学び合ったことを基にして、工業生産に携わる人々の工夫や努力について自分の考えを持つようにする。発言やノートの状況からつまずきが多く見られる場合は、補説や個別指導を行うなど、支援する。

まとめでは、児童から出された考えの要点を整理してまとめる。また、自己評価を通して理解面や情意面について振り返るようにするとともに、疑問に思ったことや次の時間に学習したいことなどを感想として書くようにする。

これらの活動を通して、指導と評価の一体化を図り、基礎学力の定着を図るとともに、自分で進んで調べ、考えるという問題解決的な学習を身につけさせていく。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
社会的事象への関心・意欲・態度	◇日本の工業生産や工場の仕事に関心を持ち、意欲的に調べようとする。	日本の自動車産業について関心を持って調べるとともに、自動車の生産や運輸・貿易に携わる人々の願いや工夫を共感的にとらえようとする。
社会的な思考・判断	◇工業生産に携わる人々の生産を高める工夫・努力や、工業生産と貿易・運輸との関わりについて考えることができる。	自動車産業に携わる人々の生産を高める効率化の工夫・安全性への努力や、自動車の生産と貿易・運輸の働きとの関わりについて考えている。
観察・資料活用の技能・表現	◇工業生産に関する写真や地図、統計などの資料を、目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取ることができる。	自動車の生産に関する写真や地図、統計などの資料を、目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取っている。
社会的事象についての知識・理解	◇工業がさかんな地域の様子や、日本の工業の現状と課題を理解することができる。	自動車産業がさかんな地域の様子や、自動車産業の工業の現状と課題を理解している。

4 指導計画

工業生産を支える人々 (25時間)

時数	中・小単元	指導目標	主な学習活動
1	◇オリエンテーション	◇福祉車両の観察を通して、人々のくらしを豊かにする工業について調べる意欲を持つようにする。	◇自動車の福祉車両を観察して、気づいたことを書き表す。 ◇福祉車両には、人々のどんな願いが込められているかを話し合う。
13 ⑦	1 自動車工場をたずねて(13時間) (1) 自動車づくりにはげむ人々	◇自動車の組み立てとシートづくりの仕事について調べ、工場で働く人たちの工夫や努力、願いをとらえるようにする。 ◇自動車工場と関連工場との結びつきについて気づくようにする。	◇自動車づくりについて疑問に思ったことを発表し合い、自動車工場の学習の計画を立てる。 ◇自動車工場の配置の特色や工夫を考える。 ◇自動車ができるまでの工程や、工場で働く人たちの工夫や努力、願いについて調べる。 ◇部品のシートをつくる工場について調べ、関連工場と自動車工場との結びつきについて考える。 ◇関連工場で働く人たちの工夫や努力、思いについて調べる。
③	(2) 自動車がとどくまで	◇完成した自動車を運ぶ仕事について調べ、輸送に携わる人たちの工夫や努力、願いをとらえるようにする。 ◇工業生産を支える運輸のはたらきを理解できるようにする。	◇新車を船に積み込む仕事やキャリアカーで運ぶ仕事の様子を調べる。 ◇自動車の輸送に携わる人たちの工夫や努力、思いについて考える。 ◇全国各地を結ぶ交通網の広がりや運輸の仕事に果たす役割を調べる。
③	(3) これからの自動車づくり	◇自動車に乗る人たちの願いについて調べ、「安全で、人や環境にやさしい」自動車づくりが進められていることに気づくようにする。	◇自動車を利用する人たちが、どんな車に乗りたいと考えているかを調べ、発表し合う。 ◇「安全で、人や環境にやさしい」自動車づくりの工夫や研究について調べる。 ◇これからの自動車づくりについて自分の考えをまとめる。
4 本 時	2 世界とつながる自動車(4時間)	◆貿易による世界各国との結びつきについて調べ、その特色や問題をとらえることを通して、これが	◇自動車を外国へ輸送する仕事について調べる。 ◇地図と地球儀の違いや、地球儀を使って、世界各国の位置や日本が

2 / 4		らの貿易の在り方について自分なりの考えを持つようにする。	らの距離・方位を調べる。 ◆日本の自動車の輸出や海外での生産の様子を調べ、今後の自動車生産の在り方について話し合う。 ◇日本の貿易の特色や問題を調べ、これからの貿易の進め方について話し合う。
5 ③	3 工業の今と未来 (5時間) (1) 日本の工業の特色	◇工業のさかんな地域や、大工場と中小工場での生産の違いについて調べ、日本の工業の特色をとらえることができるようにする。	◇身の回りにある工業製品について調べ、工業の種類ごとに分類する。 ◇日本の工業のさかんな地域を調べるとともに、その理由を考える。 ◇大工場と中小工場の生産の違いや中小工場が抱える問題と解決のための努力について調べる。
②	(2) これからの工業生産	◇工業の発達と自分たちの暮らしの変化とのつながりに気づき、これからの工業生産の進め方について考えを持つようにする。	◇工業の発達によって、人々の暮らしがどのように変わってきたのかを調べる。 ◇これからの工業生産について、自分の考えをまとめて発表し合う。
1	◇自動車すごろくをつくろう 回る絵本をつくろう	◇自動車が生産されて自分たちのもつに届くまでの一連の過程をすごろくや絵本にまとめることができるようにする。	◇班ごとにテーマを決めて作品作りの計画を立て、「自動車すごろく」や「回る絵本」などを作る。 ◇お互いの作品を見合い、作品のよさや工夫について意見交流する。
1	★発展 物作りに情熱をかけた人たちに学ぼう	◇日本のすぐれた工業技術を生み出してきた先人の努力や思いを調べ、人々の暮らしを豊かにする物づくりの意味や、生き方から学ぶようにする。	◇日本の工業の歩みを支えてきた人たちが生み出した技術や製品、物づくりにかけた情熱などについて調べる。 ◇物づくりが人々の暮らしに果たしてきた役割や、その人たちの生き方について考える。

5 本時の指導

(1) 目標

自動車の生産台数や輸出台数の変化をグラフから読み取り、海外生産が増えてきたわけを調べるとともに、これからの日本の自動車生産の在り方について自分の考えを持つことができる。

(2) 具体の評価規準

評価規準	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	努力を要すると判断された児童への手立て
これからの自動車生産の在り方について自分なりの考えを持つ。 (社会的な思考・判断)	自動車生産の在り方について、日本と各国の関係を考慮した立場から考えている。	自動車生産の在り方について、自分なりの考えを持っている。	「つりあいのとれない貿易」をしたらどうなるか考えさせ、各国との協力が大切であることを理解させる。
日本の自動車の海外生産のよさを資料から読み取る。 (観察・資料活用の技能表現)	日本の自動車の海外生産は、日本にとっても各国にとってもよいことを資料から読み取っている。	日本の自動車の海外生産のよさを資料から読み取っている。	「その国の人」をキーワードにして、教科書の本文を指でなぞりながら音読させ、該当箇所を見つけさせる。

(3) 基礎的・基本的事項について

本時における基礎的・基本的事項は、大別すると3つある。

1つ目は、基礎的な用語（国内生産・海外生産・貿易・輸出・輸入）である。基礎的な用語については既習のものが多いが、下位児童の理解の定着を図るために確認しながら進めていく。

2つ目は、基礎的な学習技能（地図・折れ線グラフ・分布図など資料の読み取り）である。地図については、本単元と関連の深い地域を地図中から探し出すことを通して、日本地図及び世界地図に親しむようにする。折れ線グラフについては、グラフの傾き及びピーク（頂点）に着目して、変化を読み取る技能を身につけるようにする。分布図については、その地域における生産量などの大きさを他の地域と比較するようにする。

また、調べ活動における教科書や社会科資料集の読み取りについてもキーワードに着目させて読み取るようにしていく。

3つ目は、社会的な事象の意味（日本の自動車の海外生産が増加していることの原因）について考える力である。

これら3つの基礎的・基本的事項をおさえながら本時の授業を展開していくようにする。

(4) 本時の指導にあたって

本時の指導にあたって以下の点に留意して授業を展開する。

「とらえる」段階では、折れ線グラフの読み取りを通して国内生産及び輸出はピークを境にして減少していること、逆に海外生産（現地生産）は増加していることを明確に捉えるようにする。そして、「なぜ海外生産が増えてきているのか」という疑問に着目するようにし、課題解決への意欲の高揚へとつなげる。

「ふかめる」段階では、まず、「海外生産のよさ」に目を向けさせ、その答えを予想させる。次に、教科書や社会科資料集を使って、「海外生産のよさ」について調べるようにする。調べ活動後は、分かったことを発表させる。また、児童から出された海外生産のよさを、「日本にとってのよさ」「現地にとってのよさ」に分類し、整理して板書する。そして、海外生産が進む前には「貿易摩擦」があったことを資料として提示し、海外生産は「つりあいのとれた貿易」を目指して進められていることに気づくようにする。

最後に、これからの自動車産業の在り方について、「つりあいのとれない貿易」をし

たらどうなるかという逆転の発想を基にして、自分の考えを持つようにする。

「まとめる」段階では、これからの自動車産業の在り方について児童が発表したことを基にして本時の課題に対する答えをまとめる。振り返りでは、「今日学習したことが分かったか（理解面）」（「がんばったか（情意面）」の2観点から自己評価させる。また感想を書くことを通して、次時への意欲付けを図るようにしていく。

(5) 展 開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (◇支援◆評価)	資料等
と ら え る 10 分	1 ドリルタイム ○基礎的な用語の復習 (貿易・輸出・輸入など) ○日本の地名・世界の国名を地図から探す。 2 前時の学習を想起する。 ○日本の自動車の主な輸出先について想起する。 3 資料を読み取る。 ○日本における自動車の国内生産と海外生産及び輸出のグラフの変化を読み取る。 4 学習課題を確かめる。	◇基礎的な用語の定着を図るために全員で復唱するようにする。 ◇本時の学習内容と関係の深い日本の地名・世界の国名を取り上げる。 ◇日本は自動車生産がさかんであり、自動車産業を通して、多くの国々につながっていることを確認する。 ◇「国内生産」「海外生産」等の用語(キーワード)の意味を確認する。 ◇グラフの傾き及びピークに着目させ、国内生産と輸出が減少し、海外生産が増加していることをつかむようにする。 ◇課題を穴埋め式にし、当てはまる言葉を考えるようにする。	◇日本地図 ◇世界地図 ◇拡大グラフ
自動車の「国内生産」と「輸出」が減り、「海外生産」が増えたのは、なぜだろう。			
ふ か め る 28 分	5 答えの予想をする。 ○海外で生産した場合のよさについて予想する。 ・輸送時間が短い。 ・自動車の材料が安い。 ・働く人の賃金が安い。 ・輸送費が安い。 ・工場の土地が広い。 6 資料を使って調べる。 ○資料を基にして、海外生産のよさを調べる。 7 調べたことを発表し合う。 ○資料から調べた結果を発表	◇自動車の海外生産の分布図の読み取りを通して、日本の自動車が生産されている様子をとらえるようにする。 ◇個人で考えさせた後、ペアで話し合わせ、自信を持つようにする。 ◇児童から出された予想を整理して分類する。 ◇教科書、社会科資料集を資料として活用することを確認する。 ◆教科書や資料から海外生産のよさを読み取ったか。(ノート) ◇資料のどの部分から確認したか、根拠を明らかに発表するように助言する。 ◇児童から出された海外生産のよさを、「日本にとってのよさ」「現地にとって	◇拡大分布図 ◇教科書 ◇社会科資料集 ◇4コママンガ(貿

	<p>する。</p> <p>8 話し合ったことを基にして考えを深める。 ○これからの日本の自動車生産の在り方について考える。</p>	<p>のよさ」に分類し、整理して板書する。 ◇海外生産が進む前には「貿易摩擦」があったことを資料として提示し、海外生産は、「つりあいのとれた貿易」を目指して進められていることをつかむようにする。 ◇「つりあいのとれない貿易」をするとどうなるかについて問いかけ、理解を深める。 ◆これからの日本の自動車生産について、自分なりの考えを持っているか。 (ノート、発言)</p>	<p>易のつりあい)</p>
<p>ま と め る</p>	<p>9 まとめをする。 ○課題に対する答えをまとめる。</p>	<p>○「協力」には、互いの利益（つりあいのとれた貿易）を尊重することだけでなく、現地生産における仕事の協力も含まれることを確認する。</p>	
	<p>自分の国のことだけでなく、各国と協力していくため。</p>		
<p>7 分</p>	<p>○振り返りをする。 (理解面・情意面)</p> <p>10 次時の学習内容を知る。</p>	<p>◇「分かったこと」「がんばりたいこと」を視点に感想を書くようにする。 ◇日本全体の主な輸入品や輸出品について、その特色を考える。また、主な貿易相手国についても学習することを確かめ、次時への意欲の高揚を図る。</p>	

6 板書計画

<世界に広がる自動車工場>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>輸出・国内生産・海外生産の折れ線グラフ</p> </div> <p><予想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時間が短い。 ・ 自動車の材料が安い。 ・ 働く人の賃金が安い。 ・ 輸送費が安い。 ・ 工場の土地が広い。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>自動車の国内生産と輸出が減り、海外生産が増えてきたのは、なぜだろう。</p> <p><調べて分かったこと></p> </td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>自分の国のことだけでなく、各国と協力していくため。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>日本にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時間が短い。 ・ 自動車の材料が安い。 ・ 働く人の賃金が安い。 ・ 輸送費が安い。 ・ 工場の土地が広い。 </div> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>現地にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事につける。 ・ 現地の材料や部品を使う。 ・ 生産した自動車を輸出できる。→産業発展 ・ 技術が伝えられる。 </div> </td> </tr> </table>	<p>課題</p> <p>自動車の国内生産と輸出が減り、海外生産が増えてきたのは、なぜだろう。</p> <p><調べて分かったこと></p>	<p>まとめ</p> <p>自分の国のことだけでなく、各国と協力していくため。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>日本にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時間が短い。 ・ 自動車の材料が安い。 ・ 働く人の賃金が安い。 ・ 輸送費が安い。 ・ 工場の土地が広い。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>現地にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事につける。 ・ 現地の材料や部品を使う。 ・ 生産した自動車を輸出できる。→産業発展 ・ 技術が伝えられる。 </div>
<p>課題</p> <p>自動車の国内生産と輸出が減り、海外生産が増えてきたのは、なぜだろう。</p> <p><調べて分かったこと></p>	<p>まとめ</p> <p>自分の国のことだけでなく、各国と協力していくため。</p>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>日本にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時間が短い。 ・ 自動車の材料が安い。 ・ 働く人の賃金が安い。 ・ 輸送費が安い。 ・ 工場の土地が広い。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>現地にとってのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事につける。 ・ 現地の材料や部品を使う。 ・ 生産した自動車を輸出できる。→産業発展 ・ 技術が伝えられる。 </div>				

協 つりあいのとれた貿易 力